

# 今年も北朝鮮漁船の不法侵入ゼロ 海上保安庁と水産庁の見事な 大和堆ブロック作戦

日本海の好漁場『大和堆』では2016年秋から多数の北朝鮮漁船がみられるようになった。海上保安庁が巡視船を派遣するようになったのは2017年7月のこと。海上保安庁は「すでに北朝鮮漁船が陣取っていた」。「北朝鮮の漁船は老朽化が進んでいて速度が出ないため、排除するのに手間取った。「一隻排除している間に別の北朝鮮漁船が侵入してくる」という混乱が生じた、という。今年6月に退去勧告をした件数は、808隻。昨年5月～8月の総数が1085隻だったので6月だけで70%を超えており昨年は出遅れていた。現場から送られてくる衛星画像の回線を強化。また昨年を上回るペースで放水を実施。現場の断固とした姿勢も北朝鮮漁船に徹底しているようだ。昨年



は北朝鮮の船から投石を受け、巡視船にヒビが入ったが今年も海上保安庁のヘリコプターを見つけるとすぐに海域を離れますとジェスチャーで伝えてくる、という。

以上、昨年まで後手を踏んでいた日本海の好漁場『大和堆』での北朝鮮との攻防戦だが、水産庁と海上保安庁がタッグを組んで違法操業をする北朝鮮の船を完全にブロックした。

海上保安庁は昨年より一か月以上早く『大和堆』に出動しEEZの内側に陣取り、最前線を50キロ押し上げ、並んだ海上保安庁の放水が北朝鮮漁船の侵入を阻んでいる。

